

令和3(2021)年3月18日

報道関係各位

栃木県

サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社

栃木県とサントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社が
「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結

栃木県は、栃木県プラスチック資源循環推進条例に掲げる「プラスチックを資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現するとの理念」の実現に向け、栃木県庁におけるペットボトルの水平リサイクルを推進するため、サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社と「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結し、3月18日、栃木県庁において締結式を行いましたのでお知らせします。

記

1 背景

栃木県では、県内全市町と「栃木からの森里川湖（もりさとかわうみ）プラごみゼロ宣言」を行い、不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底など、プラスチックとの上手なつきあい方を発信し、プラスチックごみゼロに向け取り組んでいます。

サントリーグループは、「水と生きる」をステークホルダーとの約束に掲げ、「自然環境の保全・再生」、「環境負荷低減」に加え、次世代に向けた環境教育「水育」など、サステナビリティ経営を推進しています。容器包装の分野では、2011年には、協栄産業株式会社と共同で、国内で初めてペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクルシステムを開発。さらにリサイクルの一部工程を省くことで、環境負荷低減と再生効率化を同時に実現する「F to P ダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて開発するなど、環境負荷の少ないペットボトル開発やリサイクルシステムの構築に継続して取り組んでいます。2019年に「プラスチック基本方針」を掲げ、2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルをリサイクル素材と植物由来素材に100%切り替え、化石由来原料の新規使用ゼロの実現を目指しています。

この度、両者の協働により、プラスチックを資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現するとの理想の実現に向け、「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結することといたしました。

2 協定内容

対 象:本庁舎(南別館等含む)で勤務する職員等が排出するペットボトル(年間見込約3,500kg)

※ 自動販売機設置者が設置するリサイクルボックスで回収するものを除く

取組内容:サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社が上記ペットボトルを引き取り、ペットボトルに再生し、再度同社が製造・販売する製品の容器として使用することによってペットボトルの水平リサイクルを実現する。

【本件に関するお問合せ先】

栃木県	環境森林部 廃棄物対策課 企画推進担当	028-623-3228
-----	---------------------	--------------